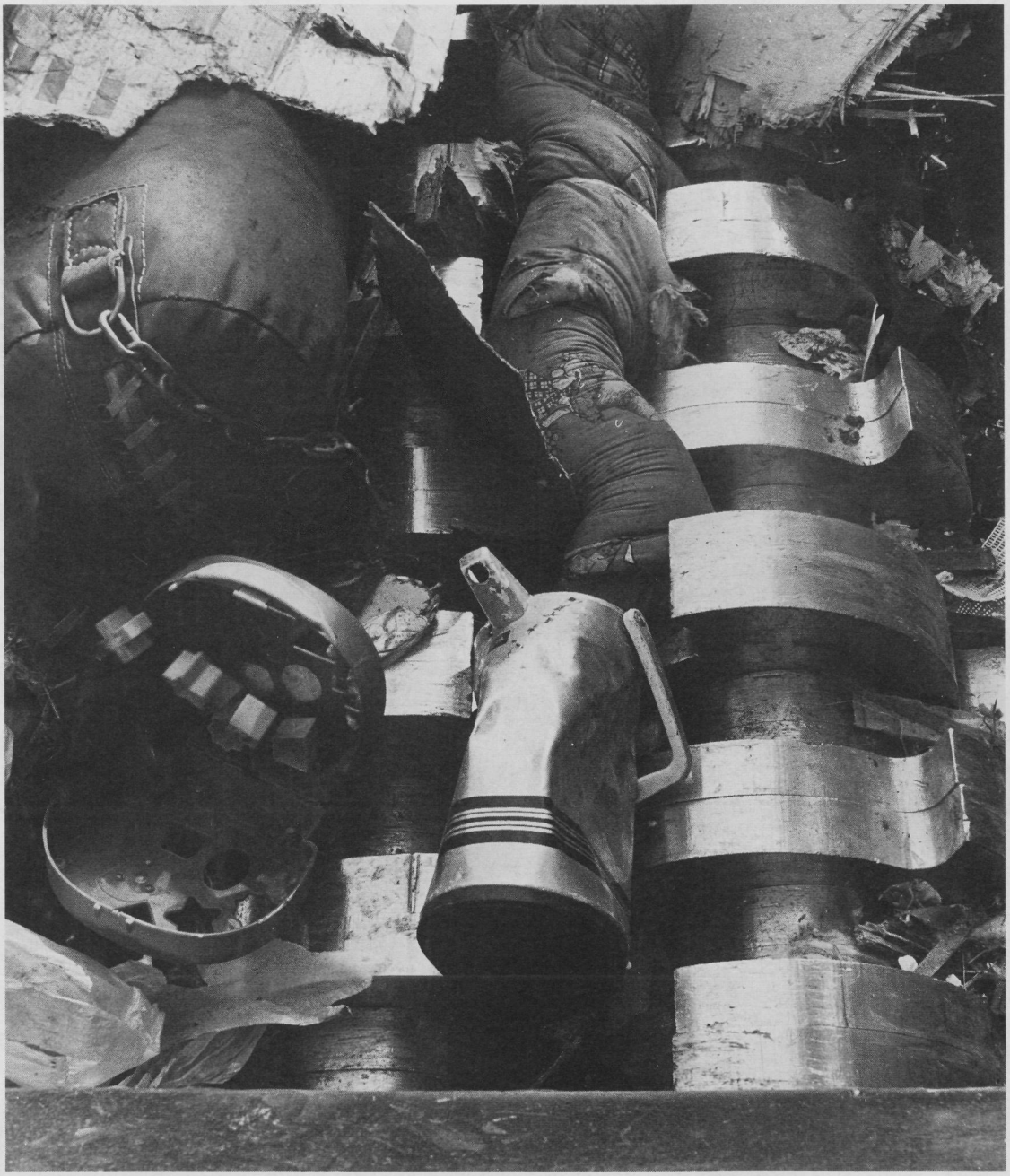
Photo ふなばし

とくしゅう PART1

全国から注目を集める ふなばしのリサイクル活動



不燃物を破砕し金属などを取り出してリサイクルする

とくしゅう PART 2

駅伝・サッカーの全国大会で 市船健児大活躍！

高校駅伝閉会式を終えて

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- WE ARE IN FUNABASHI
- アトリエ訪問
- サークル通信

まちなかの文化財／ふなばしの民話

ペットインタビュー

vol. 47

広報ふなばし写真版

とくしゅう
PART 1

全国から注目を集める ふなばしのリサイクル活動

私たちは資源を捨てている。

有用不燃物として回収された空き缶は船橋市リサイクルセンター（小野田町）に集められ、アルミとスチールに分けられる。そして、圧縮されてインゴットと呼ばれる固まりにされて製鉄会社などに引き取られていく。平成２年度は、スチール缶3,050トン、アルミ缶427トンが資源としてよみがえった

落ち着いたリビング…。実は、これらすべてが粗大ゴミ。特に引っ越しのときに出るゴミには、まだまだ使える家具類が多い。船橋市再生センターでは、粗大ゴミとして出されたものを修理・清掃し展示している。現在は、販売はしていないが、来年度からは、これらの販売を計画している

洗濯機、テレビが5,000円！
市内民間のリサイクル店は、掘り出し物の宝庫だ

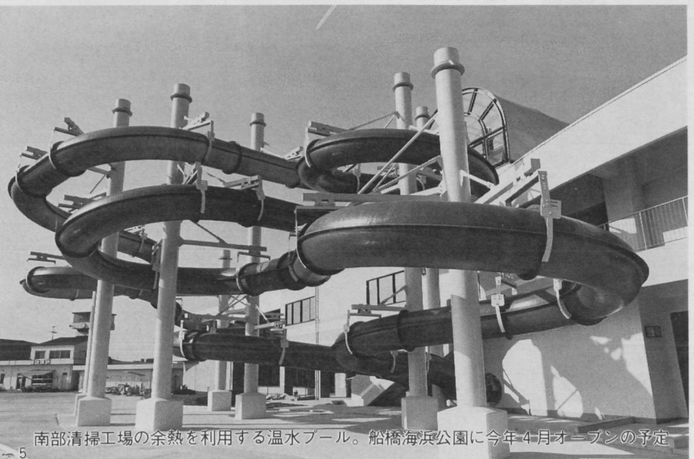
再生センターを見学に訪れた皆さん。あまりに「きれいなゴミ」を目の前に感慨深げ

リサイクルセンターに運び込まれたビンは、白、茶、緑、黒の色別に分けられる

船橋市では牛乳パック受け入れ箱を市役所、出張所、公民館に設置している

市内に6つある環境美化モデル地区の一つ、高郷町会。町会の皆さんが協力し合い、きれいなまちづくりを目指している

リサイクルセンターや清掃工場を見学しながら資源の大切さを知ってもらうゴミ戦争バス・リサちゃん号

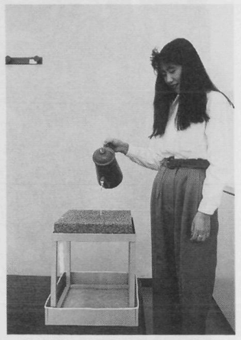


南部清掃工場の余熱を利用する温水プール。船橋海浜公園に今年4月オープンの予定

余熱と灰をリサイクル

今年4月、ふなばし海浜公園に南部清掃工場の余熱を利用した温水プールが誕生します。プールやサウナ、ウォータースライダーなども備えており、子供からお年寄りまで、幅広く市民の皆さんにお楽しみいただけます。（写真左）

また、南部清掃工場から出た灰は未燃物の混入が大変少ないため、この性質を生かして透水性タイルの開発にも協力しています。将来は、このタイルを歩道などに積極的に活用していく予定です。（右）



未燃物の混入が少ない南部清掃工場の焼却灰を利用して開発が進められている透水タイル

南部清掃工場のシュレッダーは、一般オフィス用とは違って紙の繊維を壊すことがないので、ここで刻んだ紙は再生紙の原料となる。特に、事務所から出たＯＡ用紙の処理に活用していただくよう、各企業に呼び掛けている

町会、自治会、ＰＴＡなど多くの皆さんのご協力に支えられている有価物回収。ゴミの減量に大きな役割を果たしている。平成２年度は23,100トンが回収された

有価物回収で集まった古新聞などは市内の古紙問屋に集められ、同じ紙質ごとに束ねられて製紙工場に運ばれる。100％パルプ→中質紙→雑誌→ボール紙と質を落としつつもリサイクルされる

扇屋ジャスコ㈱高根木戸店で実施されている食品トレー（発泡スチロール）の回収。加工されて台所用品などとしてよみがえる。昨年12月だけでも34,000枚が集まった

私たちは、毎日たくさんのゴミを出しながら生活しています。

平成2年度に市内で出たゴミの量は約21万トン。その処理のために57億円もの費用が注ぎ込まれました。一世帯当たりに直すと、1年間で1トン以上のゴミを出し、約3万円がゴミのために使われた計算になります。

さて、普段私たちは仕事や家庭で使えなくなり不要になった物を全部まとめて「ゴミ」と呼んでいます。しかし、その中には、リサイクルすることによって優秀な資源として再び利用できるものがたくさん含まれています。

たとえば、紙。家庭から出た新聞や雑誌などは、町会や自治会の皆さんのご協力により有価物回収によってリサイクルされ、再生紙や段ボールとしてよみがえります。

船橋市では紙類の他、空きビン、空き缶、繊維製品、金属類を積極的にリサイクルしており、平成2年度はこれらを合わせて2万3千トンを資源として回収しました。これは、全国でもトップレベルの資源回収率です。

このように、リサイクルしたゴミは製品の原料になるばかりでなく、資源の保護、環境の保全、エネルギーの節約、経費の節約等々、様々な恩恵を私たちや私たちの子孫に与えてくれます。

それでも、焼却されている紙はまだまだ多く、リサイクル先進都市といわれる船橋市でも、清掃工場に持ち込まれるゴミの半分は紙類です。

会社でも家でも、ゴミを捨てるときには、まず「リサイクル可能か」を考えて分別する。そんなあなたのわずかな行動が、地球を救うのです。

私たちは毎日「ゴミという名の資源を捨てていること」を忘れないで下さい。

問合せ　廃棄物第一課☎㊱2434

とくしゅう
PART 2

駅伝・サッカーの全国大会で 市船健児大活躍！

駅伝 男女アベック準優勝

今や、ラグビーと並んで冬のスポーツの代名詞となった駅伝とサッカー。この二つの全国大会で、千葉県代表となった市立船橋高校は、熱い走りとアグレッシブな試合運びで大活躍しました。

今回は、昨年暮れ京都で行われた、全国高等学校駅伝競走大会に、男女アベック出場し、共に準優勝という記録を打ち立てた陸上部と1月に行われた全国高等学校サッカー選手権大会に出場、ベスト4まで勝ち進み、国立競技場のサッカーファンを魅了したサッカー部の活躍を特集しました。

「よくやった！」沿道からは惜しみない拍手と声援が送られ、ビルの窓からは紙吹雪が舞った。12月25日、陸上部員たちはＪＲ船橋駅から市役所までパレード。アベック準優勝の喜びを今度は市民とともに分かち合った

力走を終えた４区小栗一秀選手（２年）

大牟田高校との激戦を演じた３区嵐田剛史選手（２年）

区間賞を獲得した小栗康良選手。２区３キロを８分31秒で走りトップを守った（２年）

アンカー・蛯江千亜希選手（２年）。満員のスタンドからわき上る歓声が彼女を迎えた

スタートの京都市西京極陸上競技場には、市立船橋高校と姉妹校であるヘイワード市・モロー高校の皆さんが応援に駆け付けてくれた

４位でタスキを受けた２区水内聡子選手（１年）。途中３人抜いて堂々トップに立つ。4.0975キロを13分09秒で走り区間賞を獲得した

47校が参加した女子第３回全国高校駅伝。市立船橋高校女子チームは、21.0975キロを１時間８分56秒でタスキをつなぎ、２年連続準優勝を果たした

応援に駆け付けてくれた父母の皆さん。平安神宮への参拝もすっかり恒例となった

閉会式後、宿舎で祝賀会が催される。乾杯の声が元気よく部屋中に響いた

大橋和夫市長から祝福の花束を受ける市船陸上部の皆さん

「よくやった、お疲れ様」。祝賀パレードには約5000人の市民が押しかけ、選手の健闘をたたえて大きな拍手と温かい声援が送られた

ここまでの長い道のりをチームメートが一丸となって走り抜いた。胸の銀メダルが誇らしげだ

サッカー
大健闘第3位

1月6日の対室蘭大谷戦。前半35分、鬼木選手がボレーシュートを決めて1対1の同点に追い付いた

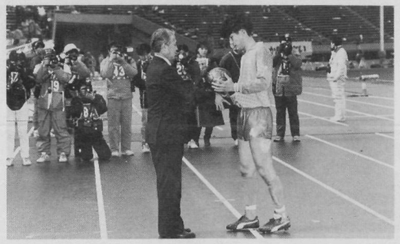
対室蘭大谷戦後半31分。室蘭ゴール前で相手のクリアが小野選手の足に当たり、はね返ったボールがそのままゴールへ。これが決勝点となり、ベスト4へのキップを手に入れた

1月4日3回戦。昨年のユースの覇者徳島市立高校を1対0で撃破。「一つ大きな山を乗り越えた」と布監督

対山口戦。クラスメートの熱い声援も快進撃の原動力

国立競技場での準決勝。後半15分、待望の先制点にわきあがる応援団

1月7日、国立競技場に舞台を移した準決勝戦。帝京高校相手に広い国立のグランドをいっぱいに使い、今大会中最高の動きを見せてくれた市船イレブン



1対2と惜しくも準決勝で敗れた市船イレブンには健闘をたたえ3位のトロフィーが贈られた

一進一退の続く準決勝前半。戦況を見つめる市船陣営にも緊張感が張り詰める

準決勝後半15分。鈴木選手が待望の先制ゴール。だれもが市船の決勝進出を頭に思い描いた

1月3日2回戦対山口戦。相手ディフェンスの反則によるＰＫで勝ち越し3対2で辛勝

山口の善戦に苦しんだ2回戦。試合終了後、布監督の表情も渋かった

「来年も国立へ来いよ」スタンドからは惜しみない拍手と声援が送られた

まちなかの文化財

諏訪神社（山手3丁目）

旧行田村の鎮守・諏訪神社は大きなまるまる道路の中の行田団地の東側にあって、道路に外接しているが、何だか知らないが石の鳥居は北面して、つまり横っちょ向いて建てられている。北面は気になるな――旧行田の集落形態は学問上〝散村〟だった由、それと何か関係あるのかなと思う。思っただけで、ついと境内に入る。

境内は決して広くはない。が、神社の森が見られ、大きなカラスが枝を震わせて飛び交っている。遠くから眺めても今近くで見ても、スダジイ、タブ、ユズリハなどの常緑の樹々が中空にまで膨れあがり、それら緑の固まりを踏んまえるようにケヤキの大木が十数本、冬空に向かって思いきり枝先を伸ばしている。春間近とあって、梢の先は幾分か赤らんで見える。

おや、寒椿の花が落ちている。見上げればかなり古木である。濃緑の深い葉蔭に三つ、五つと花の数を拾う。花の姿は赤い小籠とも真ん中に灯をともした赤いランプとも、あるいは赤い小鳥が隠れているようにも。

境内に庚申石仏等七基。天明六年（一七八六）が一番古い。他に「行田區」兵役服務者二十三名を刻んだ記念碑など。

（文・大木　勲）

細かい細工が施された稲荷神社の本殿

冬の木もれ日が境内をやさしく包む

市政トピックス

緑の基金が貴重な緑を保全するため民有緑地を買収

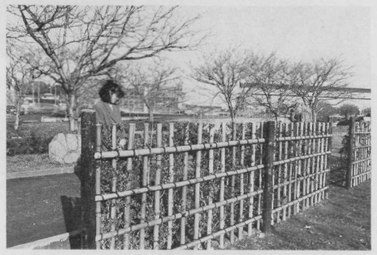
市街化区域内にある貴重な緑として保存・育成していきます

財団法人「船橋市緑の基金」（会長・大橋和夫市長）は、昨年12月、芝山7丁目の住宅地に残っていた緑地を買い取りました。これは、地域住民の強い要望に応えて行われたもので、田喜野井緑地に次いで2か所目となります。この緑地は、地元の協力を得ながら大切な緑として保存・育成していきます。同基金では、今後も、市街化区域内にある貴重な緑を保全するため、継続して買収していく予定です。

緑の基金が平成元年度に初めて買収した田喜野井緑地

海老川・八栄橋近くに生け垣見本園オープン

緑の基金では、緑化事業の一環として生け垣の普及に力を入れ、費用の一部助成などを行っていますが、このほど、生け垣見本園を海老川沿いの八栄橋近くに設置しました。8種類の樹木を使った生け垣がありますのでご覧下さい。


8種類の樹木で作られた生け垣が勢ぞろい

防火の誓いも新たに 消防出初め式が行われる

◀消防功労者を表彰する大橋和夫市長

消防士姿もりりしい幼年消防クラブ員によるポンプ操法演技

新春恒例の消防出初め式が、今年も船橋オートレース場駐車場で華やかに行われました。1月8日、晴天に恵まれた会場には、市消防局、消防団、企業の自衛消防隊、そして船橋鳶職組合の皆さんら約1100人が集合。はしご乗り、幼年消防クラブ員によるポンプ操法演技、そして消防音楽隊によるドリル演技などが次々に披露され、詰め掛けた市民の皆さんは、用意されたストーブで手をあぶりながら、各種消防の妙技が終わるごとに熱い拍手と声援を送っていました。

出初め式のクライマックス、若鳶会の皆さんによるはしご乗り

市民ひとことインタビュー

テーマ　今年はどんな年にしたいですか？

健康維持のためにも運動して、丈夫な一年にしたいですネ。

大塚本枝さん（二宮1）

家族みんなが健康で、子供が幼稚園で友達がたくさんできればいいですね

毛見育夫さん（夏見台4）
さおりちゃん（4歳）

家族がみんな健康であれば、それが一番ですネ。

志賀とし子さん（習台2）
郁　子ちゃん（3歳）

1年間充実した仕事ができればと思っています。

佐藤和裕さん（山手2）

子供と遊びの中で自然に学べたらいいなと思います。

深沢弘子さん（南三咲3）
恒之くん（3歳）

21世紀を担う船橋っ子 1万650人が晴れて成人に

▲市民文化ホール前広場では、旧交を温め合う新成人でいっぱい

◀「国際感覚豊かな大人になって下さい」とあいさつする大橋和夫市長

若い熱気で包まれた市民文化ホール

1月15日、成人式が市民文化ホールで行われました。今年、市内で晴れの新成人となったのは、10,650人（昭和46年4月2日から47年4月1日生まれ）。当日は、この内6,701人が出席、式典は3回に分けて行われました。式典で大橋和夫市長は「国際感覚豊かで、外国人からも信頼される大人になってください」とあいさつ、出席された皆さんも真剣に聞いていました。また、6階の「出会いの広場」では、お茶席や記念写真、生まれた日の新聞コピーなどのコーナーが設けられ、新成人でにぎわっていました。

新春に走る！

成人の日記念駅伝

「次は任せろ」タスキを待つ第2走者も闘志満々

1月15日、第36回成人の日記念市民駅伝が行われました。参加チームは、一般、高校、中学の部合わせて87チーム。一般の部ではマルホクラブ、高校の部では市立船橋、中学の部では前原中がそれぞれ優勝しました。

中学の部で優勝した前原中学校の皆さん

元旦マラソン

新春恒例の市民元旦マラソンが、1月1日、運動公園周回コースで行われました。当日は、絶好のランニング日和にも恵まれ、中学生から77歳のお年寄りまで1,023人が、それぞれのクラスに分かれ走り初めをしました。

晴れの表彰式

以外とアップダウンの多いコースに皆さん悪戦苦闘

市民に親まれる施設に 二宮出張所の改修工事終わる

二宮出張所（電話 64—1811）

平成元年から3年かけて改修を進めていた二宮出張所の工事が終わり、内外装ともフレッシュに生まれ変わりました。同出張所は、昭和48年に建設されて以来、20年近く経過し、老朽化が進んでいたもので、建物は、外壁はオフホワイト、内装はシックなグレー調で統一しています。また、庁舎の改修と併わせて駐車場もコンクリートとフェンスの代わりにさざんかと寒椿の植え込みにするなど、市民の皆さんが利用しやすいように改修しました。また、三山7丁目にある三山連絡所も外構や床面の改修が2年計画で行われました。

三山連絡所（電話 75—8300）

街角ホットニュース

レンズがとらえた わたしのまちのホットな話題

感激も新たに全校生徒、父母が見守るなか、受賞曲などが演奏された

三田中学校管弦楽部 全国学校合奏コンクールでV4!

平成３年度全国学校合奏コンクールで最優秀校となり、同コンクール史上初の４年連続日本一に輝いた三田中学校管弦楽部の表彰式と記念演奏会が、１月14日、同校体育館で行われました。

当日は、表彰式のあと受賞曲のチャイコフスキー作曲「交響曲第５番第４楽章ホ短調作品64」「浜辺の歌」が演奏され、生徒や父母約1200人から大きな拍手が送られました。最後に、全員で「ふるさと」を合唱して式を終えました。

管弦楽部の代表に優勝旗などが授与された

新春を彩る 船橋華道展開催

１月９日から14日まで東武百貨店船橋店で'92初春船橋華道展が行われました。今年で11回目を迎えたこの催しには、各流派から163点が展示され、会場を訪れた人は、新春らしい作品を楽しんでいました。

▲テープカットする関係者の皆さん

新春らしい華やかな作品に、訪れた皆さんも時間を忘れ見入っていました

新成人の門出を祝って 船橋大神宮の灯明台を点灯！

▲鏡割りをする新成人の皆さん

１月14日、船橋大神宮で灯明台祭が行われました。この灯明台は、明治の初めまで活躍していたもので、県指定文化財になっています。現在は、年一度行われる灯明台祭で、新成人の門出を祝して点灯されます。集まった大勢の皆さんが見守るなか、新成人3人の手により一年振りに光がともされると、境内は歓声と拍手で包まれました。

ふなばしの民話

富家の目許頭布（とみけのめばかりずきん）

文・村上昭三

かつて、家康が上陸したといわれる辺り

むかし、徳川家康は、いよいよ待望の征夷大将軍に任命されました。天下は家康公のものとなりました。

家康公は、大変鷹狩りが好きでした。江戸に幕府を設けた家康公は、早速鷹狩りの計画を部下に命じました。そこで、上総国東金に行くことになりました。

家康公は、大勢の供を連れ、船に乗りました。江戸日本橋から江戸湾を湾岸沿いに船橋の海老川までやって来ました。

海老川の河岸では、船橋大神宮の神官の富基重、基治親子が先刻から今か今かと首を長くして待っていました。やがて、家康公の乗った船がすーっと近づいて来ました。

富親子は、船上の家康公の姿を見て

「公方（くぼう）様、富来た目許頭布を脱ぎました。そして、これを年老いた基重に被せ、両手でやさしく二、三度肩をたたいて労りました。

富親子は、最初に船橋宿の一角に建てて間もない船橋御殿へ案内しようとしました。すると、家康公はそれを制して

「富、余は其方（そち）が祭司する大神宮を先に詣でるぞ。案内してくれ」

と言いました。

そして、船橋大神宮に昇り、うやうやしく参拝をしました。更に、その場で多額の金子（きんす）を寄進しました。

それから、境内の客殿で暫くくつろぎ、その後で船橋御殿に向ったということです。また、富家に代々家宝として大切に伝えられたという目許頭布は、このようにして家康公から頂戴したものだということです。

「富、出迎え大儀じゃ、大儀じゃ」

と言いながら、道中被ってでご座います。長旅さぞお疲れでご座いましょう。お迎えに参りました」

と大きな声で挨拶をしました。

これを見た家康公は、ニッコリと微笑みながら頷いていました。それから、河岸に上ると

小雨のなか「火の用心」を呼び掛ける子供たち

子供たちが 師走の街に火の用心

前原睦自治会少年消防クラブの子供たちが昨年12月25日から３日間、ＪＲ津田沼駅周辺を夜間防火パトロールしました。子供たちはおそろいの制服に拍子木を持ち「火の用心、毎日が火の元警報発令中」と元気良く呼び掛けていました。

つきたてのおもちはおいしいな！ 600人を招待してもちつきフェスティバル

船橋学園の皆さんのすてきなチアリーディング

12月22日、武道センターでもちつきフェスティバルが行われました。これは、船橋建和工業会が昭和43年から行っているもので、今年も、施設の子供たちやお年寄り約600人が招待され、つきたてのおもちを食べながら、船橋学園の生徒のチアリーディングを楽しんだり松ケ根部屋の力士６人のもちつきを見たりと楽しい一日となりました。

軽々ともちつきをする力士の腕力に皆さんびっくり

サッポロビール千葉工場 見学コースの映画が新作に

市内高瀬町の京葉食品コンビナート内にあるサッポロビール千葉工場は、見学コースのある工場として多くの見学者が訪れています。その見学コースの目玉、マリンシアターの映画が２月から新しくなりますので、ぜひ、ご覧ください。見学申し込みは、サッポロビール千葉工場まで（☎37―3591）

見学コースの案内をしてくれるマリンレディーの皆さん

アトリエ訪問

洋画家 輪違宜和（わちがいよしかず）さん（印内３丁目）

昼間に構想を練り制作はもっぱら深夜。夕方早く夕食をすませ、すぐ睡眠をとる

京成西船橋駅から行田団地に向かう道を真っすぐ行くと、武蔵野線と丁度交差する右手前にこんもりとした小さな林がある。その一角に輪違さんのお宅がある。道路に面した入り口は車が４台程止められる中庭になっていて、正面と左側が２階建ての母屋。右側の平屋の建物が陶芸と絵画の教室になっている。母屋のすぐ右側に高さ十数メートルのケヤキの木が一本、すっと伸びていて独特の雰囲気である。周囲をぼんやり見回していると「いらっしゃい」と濃紺の作務衣姿の輪違さんが、その絵画教室の棟の中からいつの間にかにっこりと現れて、早速仕事場にお邪魔させていただくことになった。

「ここに来てから一回くらいしか掃除してないんですよ」と薄暗い廊下を奥に進む。両側には雑誌やキャンバスなどの画材が所狭しと積まれていてやっと通り抜けられる程の幅である。ぷうんと油絵具のあの匂いがたちこめてきた。

アトリエは10畳程の広さであった。制作中の作品や様々な画材が足の踏み場がないくらい床の上に広げられている。壁や棚には下塗りの終わったキャンバスや作品、そして小物などが置かれている。輪違さんはその床の上の物の間を器用によけながら進むと、窓際のソファーにどっかりと大きな腰を沈め、カチッとタバコに火を付けた。

いろいろな絵画の話を伺った。４歳の時既に遠近感覚を持ち、17歳の時初めて描いた風景画が全日本学生油絵コンクールで一位になって、そのまま光風会に入りプロとしての活動を始めたこと。そして18歳の時に先生につき、大学一年の時に日展にも入選。「絵画の命は構図なんですよ。よく黄金比といいますが、古今東西、名作といわれる作品はまず構図がしっかりしています。そこをただ感覚的にやっている人が多いわけです。私はこれを理論化させてみたいと思って、もう20年近くも研究していますがまだまだです」

アトリエ中央のイーゼルに立て掛けてある100号程で茶色の下塗りをした大きなキャンバスには黄色の線が縦、横、斜めと無数に引かれている。この線がその研究の成果である。こうして描く人は千葉県で二人しかいない。お弟子さんにもこの理論を徹底的に教え込む。輪違さんの作品の中に登場するピエロやジャズメンたちのあの迫り来るような強烈な迫力と色彩、そして存在感は、決して感覚的にだけで生まれたのではなく、その裏に長い時を経た、緻密な計算があったのだ。

「実はこれから窯出しなんです」今、５年程前から始めた陶芸が楽しくて仕方がないのだという。「今度は木彫りにも挑戦します。何でもやってみたいんですよ」と大きな目をいたずらっぽく細めて微笑むその笑顔に、芸術家としての飽くなき探求心に裏打ちされた、確かな自信が感じ取れた。

物を作ることが得手。部屋の内装をはじめ、イーゼルや道具箱、細かな画材にいたるまですべて手作りしてしまう

みんなの広場

サークル通信

二和公民館 二和梅の花会

パチンとハサミを入れる小気味よい音と、皆さんの真剣な表情がとても印象的な二和梅の花会。現在、会員は19人。第2・4金曜日に集まり、練習しています。この会の流派は龍生派。入門から皆伝までの4段階あり、それぞれテキストを使って練習するのが特徴。船橋市華道連盟会長でもある大網梅雪先生の丁寧な指導も評判です。「生け花を始めてから、花を見るときに、奥行きを持って見るようになりました」と会員の方。楽しみながら、長く続けていけることも生け花の良いところとか。初めての方でも歓迎しますというこの会、興味のある方はぜひ。

（連絡先：山崎恵子　☎49－3875）

現代花から古典花まで様々な花を生けます

この日の花材は、ストレッチアとエニシダ、そして菊です

▲ゲームの時は思わず熱中します

私たちといっしょにいい汗流しませんか

今着ているものはすべて私たちの手編みです

完成間近が一番楽しみです▶

三田公民館 三田手あみサークル

「素材、色、編み地（模様）を変える事で本当に色々な物が編めるんですよネ」。現在15名の会員の方が毎週木曜日に集まって編み物に励んでいます。自宅で編む時間の方が多いという皆さん。活動日は、お互いの情報交換の場になっていて、新しいアイデア発見もあるそうです。編み物のコツは自分のゲージ（編み加減）をつかみ、編む物に合わせて、編み棒や編み糸の太さを選ぶ事とか。慣れると自分で製図（目数の入った型紙のようなもの）して編む方も。「みんなでワイワイ、マイペースで編んでいます。」というこの会。経験の有無は問いません、あなたも一緒にいかがですか。

（連絡先：打桜広子　☎78－3937）

塚田公民館 塚田インディアカ

公民館の講習会をきっかけにスタートして4年目を迎えるというこのクラブ。現在15名の仲間が毎週火曜日に集まって汗を流しています。最近ニュースポーツとして注目されているインディアカ。ルールはバレーボールとほぼ同じですが、ボールの代わりに羽根つきの羽根を大きくしたような物を使うので、バレーより手軽にできて、初めての人にも親しみやすいそうです。「ストレス解消にもなるし、とても楽しいですよ」という声も。インディアカのコツはウマく手のひらにジャストミートさせる事だとか。とは言え、技術よりも〝楽しくスポーツ〟がモットーのこのクラブ、ぜひ一緒にいかがですか。（連絡先：鎌田令子　☎30－1666）

ペットインタビュー

私たち、ボール遊びが大好きです

なまえ

フォクシーとネギ

（シェットランドシープドック）

オーナー

今野晴美さん（二和東5）

私はフォクシー。私はネギ。何でネギなのかというとネギ畑で迷子になっているときに拾われたからなの。フォーそれ以来、私たちとっても仲良しなのよね。ネギーそうね。でもあなたが赤ちゃんを産んだ時には、私にぜんぜん触らせてくれなくてちょっと気まずくなった事もあったんじゃない。フォー私たちって病気はしないし、うるさくほえたりしないし、世話のかからない犬よね。ネギーそうね、やっぱり奥様がとっても良く面倒見て下さるからよ。フォーそれに、お散歩の時だって私たちのした物もちゃんと持ち帰ってるものね。ネギーそーいえば「こうすれば周りの人に迷惑をかけないし、なによりあなたたちのためよ」って言ってたっけ。フォ・ネー私たちって本当に幸せ者よねェ〜。

WE ARE IN FUNABASHI

ART

あれこれ考えながら作るのが楽しいですね

太田路子さん（飯山満町2）

「どのように出来上がるのか、あれこれ考えながら作るのが楽しいですね」。太田さんがレザークラフトを始めたのは3年前。船橋に越してきて、広報紙を通じて知った二和公民館のレザークラフトサークルに入ってから。「最初に作ったのは小銭入れでした。それから、ハンドバッグやえもん掛け、ブローチなど小物を作っています。お友達にプレゼントして喜んでもらうと、それがまたやりがいにつながります」。制作は、現在、月に一作品のペース。自分の作品は、この世に一つしかない。そんなところが魅力という。「これからも、ゆっくりと楽しく作っていければいいですね」という太田さん。今年は、人形とか、額に入れる絵にも挑戦したいと夢は広がります。

まいふぁっしょん

ジーンズなどラフな服装が好きです

佐藤糸保（しほ）さん（市場1）

「ラフな服装が好きですね。普段は、ジーンズが多いです」とハキハキ答えてくれた佐藤さんは、市内の百貨店にお勤め。夏は海、冬はスキーとアクティブなお嬢さん。今日は、ザックリとした黒のタートルネックのセーターとブルージーンズにキャメルのスエードジャンパーという組み合わせ。足元も茶色のデザートブーツで決めています。「ブランドなどは気にしません。気に入ったものでコーディネートしています」と自分の感性を大切にしています。カバンも服装に合わせて楽しんでいるという佐藤さん。今年は着付けを習いたいですねと話す笑顔がキリリと素敵でした。

あい・らぶ・ふなばし

生徒と人生について語り合いたいですね

エドワード・ウインチェスターさん（駿河台1）

「日本とアメリカの教育制度の違いを勉強するのが大きな目的なんです」。サンフランシスコで高校の教師をしていたというエドワードさんは、昨年の9月から船橋市の英語指導助手（AET）として市内の中学校で活躍しています。「生徒たちはとてもフレンドリーでエンジョイしています。でもシャイな生徒が多いですね」。趣味はスポーツというだけあって、17歳から始めたバレーボールは本格的。市役所のバレーボール部のレギュラー選手。「去年の秋の県大会で優勝したときは嬉しかったです」とにっこり。日本では大相撲のファンで、5月に国技館に見に行くのが今から楽しみとか。将来は、生徒と人生について話し合ってみたいというエドワードさん。スポーツマンらしいさわやかな好青年です。

お店

画廊ファインアート・潮

本町3-9-13　☎(25)4141

昨年10月、海老川橋のたもとからほんの少し下ったガソリンスタンドの2階に「ファインアート潮（うしお）」という画廊がお目見えしました。オーナーは石井猛夫さん。20代後半に都内のデパートで絵を買い求めてから病みつきとなり、現在所蔵している絵の数は、約二百点あまり。特に人物と風景画がお気に入りだそうです。

「画家がその力を凝集した作品を眺めていると気持ちが休まります。良い絵は、精神的な清涼剤とも言えるのではないでしょうか。『絵はよく分からない』とおっしゃる方が多いと思いますが、そんな方こそ気軽に足を運んでいただき、絵を楽しんでいただけたらと願ってこの画廊をオープンしました。」

画廊には常時15点前後の絵を展示しており、作品の掛け替えは2週間に一度行っています。

あなたも、心の清涼剤をどうぞお試しあれ。

営業時間は午前10時から午後7時まで。水曜日休館。

あとがき

■本号では、全国学校合奏コンクールで最優秀賞を獲得した三田中学校管弦楽部と塚田小学校の新音楽室を紹介しています。三田中管弦楽部は、同コンクール初の四年連続日本一という快挙で、PHOTOふなばしの常連となりました。船橋市は音楽が盛んなまちで、今までに、管弦楽では小栗原小、前原小が日本一になっているほか、吹奏楽では法田中、合唱では芝山東小が、全国大会などで好成績を残しています。

小・中学校の音楽教育では、子供たちの音楽的「感性の育成」が大きな目標になっています。塚田小に誕生した音楽室は、6人用アンサンブルオルガン、シンセサイザー、デジタルドラムなど最新の電子楽器、ビデオやレーザーディスクの映像を映し出す100インチの電動スクリーン、コンピュータ制御でコンサートホールの音響を作り出す仕掛けなどを持つ日本初の音楽室。

この音楽室から世界的なミュージシャンが誕生するのが楽しみです。

第13回 船橋市写真展

昨年に引き続きゲスト審査員として写真家佐々木嵐先生を招き、親子、夫婦での出品など話題の多かった写真展

船橋市写真展が、1月25日から2月2日まで市民文化ホールで行われました。今年は、白黒・カラー単写真の部、組写真の部合わせて139点の力作が出品され、見応えのある写真展となりました。

全国初 塚田小にハイテク音楽室完成!!

塚田小学校の音楽室が生まれ変わり、１月14日、披露式が行われました。小・中学校の音楽教育では、子供たちの音楽的感性の育成がその大きな目標となっていますが、今までのような音楽室では、普段から家庭などで良質で豊富なジャンルの音楽を楽しんでる子供たちに夢を持たせることは難しいことから、船橋市教育委員会の音楽科研究指定校の塚田小にモデル音楽室を設置することになったものです。普通教室の２倍の広さを持つ新音楽室は、防音、冷暖房はもちろん、コンピューター制御の音響システムや100インチの電動スクリーンなどのＡＶシステムが設置されています。また、６人用アンサンブルオルガン、シンセサイザー、デジタルドラム、自動演奏ピアノなど最新鋭の楽器がそろうハイテク音楽室になっています。

「まるで21世紀の音楽室のようだね」と生徒の皆さんも大喜び

広報番組ガイド

○千葉テレビ（UHF46チャンネル）

- テレビ広報・船橋だより（15分）
  毎月最終日曜日の正午から
- 船橋トピックス（１分）
  毎週月曜日午後５時30分から放映中の「タウンガイド」の市町村コーナーで放映

○BAY FM（エフエムサウンド千葉）

- フナバシ・タウンクルーズ（５分）
  毎週土・日曜日の午前７時55分から（78MHz）

広報課☎36―2015

スポーツで健康ふなばし こんにちは…

「くらし・自然との調和」をテーマに第26回生活展開催

生活展が、１月22日から27日まで西武百貨店で行われました。「ゴミを見直そう、婦人の手で」「安全な野菜を求めて」など市内の消費者団体が、この１年間の暮らしの中で様々な問題について学び、研究した成果などが展示された会場では、訪れた皆さんが熱心に担当者の説明に耳を傾けていました。また、アトラクションやクイズコーナーも好評で皆さん挑戦していました。

連日多くの人でにぎわった生活展

PHOTOふなばし　第47号　発行　船橋市　平成４年１月　編集　船橋市広報課　印刷　㈱総合印刷新報社